

JAAS News 第137号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2010年11月19日

< もくじ >	ページ
1. 2010年度連続講座・第3回・4回講座の参加申し込み受け付け中	1
2. 会員や学会の活動情報	2
3. 研究会報告・ご案内	2
4. 著書紹介	3
5. シニアニュース	4
6. 「エイジレスフォーラム」第9号に掲載『会員の声』募集	4

1. 2010年度連続講座・第3回・第4回講座の参加申し込み受け付け中

◆第3回講座は11月27日(土)開催です。定員(45名)になり次第締め切りとなります。◆

テーマ:「新しい学びのチャンス」

講師:笠原 清志(立教大学教授)

(講演要旨)

「学びの情熱尽きることなく――立教セカンドステージ大学は、シニア層のために、人文学的教養の習得を基礎とし、学び直しと再チャレンジのサポートを目的とした新たな学びなおしの場です。立教大学の建学の精神に基づくリベラルアーツ(教養教育)の重視と、学外からも高い評価を得ている全学共通カリキュラムで培った経験を踏まえ、シニア層の人達がセカンドステージの生き方を自らデザインする、というコンセプトが設立の原点になっています。また、立教セカンドステージ大学は、単に一般市民に大学を開放するものではありません。シニア層の人達が、集い、人と人とのネットワーク、地域や社会とのネットワークを形成し、仕事や多様な社会参加の担い手として、セカンドステージに踏み出すための新しいキャンパスの創造と位置づけています。」(「立教セカンドステージ大学の設立趣旨より」)

◆翌週の12月4日(土)が第4回講座の開催となりますので、併せてご案内いたします。◆

テーマ:「シニアという物語」

講師:濱口 晴彦(創造学園大学教授・早稲田大学名誉教授、当学会副会長)

(講演要旨)

ある日の野球実況中、アナウンサーが同席の野球解説者に野球の醍醐味について問いかけた。解説者は「勝負の結果は現実ですが、ゲームは物語です」と応じていた。そうか、ゲームは物語なんだ。予想もしない大小の出来事が一球一打からプレーヤー(彼らの家族や球団関係者)たちの喜びや涙の物語が生まれ、語り継がれる。野球ファンはスタンドで、あるいはラジオやテレビを視聴しながら最上チームの試合展開にはらはらときどきして、物語の裾野を広げ伝説を創る。奥は深いぞと悟った。

シニアは、大小さまざまな物語を持っているゆえにシニアだといえなくはない。これらの物語から聞こえてくるのは「あなたがいるから私がある」という和音である。シニアたちは今日も、新しい物語を創り出している。それが生きている確証なのだから。

1) 場所 : 東京銀座資生堂ビル 9F ホール(中央区銀座8-8-3)

<http://www.shiseido.co.jp/ginzabld/html/map.htm>

2) 開催要領: 各回とも14時~16時の開催(開場13時30分)。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2500円、非会員3000円。

(ティータイムに季節のケーキとコーヒーor紅茶が付きます)

※お申し込みは、①氏名(会員、非会員)、②参加の講座、③連絡先 を明記の上、
eメール(jaas@circus.ocn.ne.jp)か、FAX(03-5778-4728)で事務局まで。
(HP掲載の「パンフレット」もご参照ください <http://www.jaas.jp/>)

※参加費は、当日、会場にてお支払いください。

※今後とも各回ごとにJAAS Newsなどで随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。

◇連続講座第2回参加者の感想

市川範子さん(西東京市) <第2回講座「地域活動のすすめ」講師：堀池喜一郎>

9月より新たな連続講座が始まり、楽しみにしていたものの用事と重なり、第1回は参加することが出来ず残念だったので、第2回目は!と豪雨にも負けず銀座までやってきました。現在はフルタイムで働いていますが、やがてやって来る停年にたいして「セカンドライフはどの様に送っていけばよいのか!？」と思いが過ぎり、退職前の方々に伺っても皆さん悩んでいるようで、これはと思うような良い答えは返ってきません。そして、地域との関係も悩みの種です。退職後どの様に係わって…受け入れてもらえるのか…と。今回、堀池先生のお話で勇気付けられました。“自分のできる事で皆さんに喜んでもらい、地域で活動できること”の糸口が見つかったように思います。まだまだ私の考えていることは単純有償になるのか自信がありませんが、少しずつ「生きガイ、やりガイ、ナイスガイ」に近づけるよう精進していきます。

2. 会員や学会の活動情報

(1) 調査・研究事業チームからのご報告

エイジレスフォーラム第6号(2008)で、定点観測調査プロジェクトチーム(荒井浩道、澤岡詩野、袖井孝子、鈴木昭男、森やす子)が行った「会員の学会活動への参加意向の分析」を覚えておいででしょうか。同チームは2009年から調査・研究事業チームとして、高齢者の情報通信技術活用に関するテーマに取り組んでいます。昨年は、大川情報通信基金の助成を受けて「高齢者のIT利用とQOL(生活の質)」をテーマに研究活動を行いました(エイジレスフォーラム第7号)。

これまでの取り組みが評価をうけ、本年度は、独立行政法人 福祉医療機構の事業助成「ICTによる高齢者孤立防止モデル開発事業」(481万5千円)を受けることができました。現在は、東京都江戸川区の大規模集合住宅を対象に、住民の方々と連携し、社会実験および大規模アンケート調査の実施に向け、準備を進めています。

ITまたはICT等と総称される情報通信技術の普及、高齢者の孤独死や社会的孤立の顕在化、それらの社会状況を反映し、本テーマは大きな注目を得ています。本事業の成果は、会員の方々に定期的にお知らせすると共に、福祉専門家、自治体の関係機関、興味関心をもたれる全ての方にむけ、積極的に発信していく予定でいます。興味をもたれた方は、学会の事務局までご連絡下さい。

(2) シニア社会学会「ブログを作ろう!自分発信塾」開講。

会員4人会員外3人の受講者で11月13日と20日の2日間初開講しました。会場は、三鷹産業プラザ。講師陣は堀池喜一郎理事とCB研究会のベテラン。地域活動での発信の意味を学び、自分の活動ブログを開設し読者との交流方法を身につけます。フォローアップの勉強会も半年間研究会方式で開催予定。乞うご期待。



(3) 「アジア太平洋アクティブエイジング会議」(福岡 ACAP 2010) 参加報告

「高齢者が元気でまちづくりに貢献し、高齢者を優しく見守る」のテーマで、アジアから参加 150 人を含めて 200 人が集まり 10 月 30 日～31 日に基調講演、分科会、ワークショップをしました。手作り感ある会の運営で、実行委員長・小川全夫熊本学園大学教授ら多数と親しくできました。大会会長キャサリン・ブラウン博士・ハワイ大学が「アクティブエイジングとは、死ぬまで元気でいなければならないこと」と定義しました。基調講演の韓国シニアビジョン協会会長・車博士は、韓国の新設介護保険の良さと課題を詳しく述べました。分科会は、秋山弘子東大教授の老年学コンソーシアムの成果と提言。インドネシア大学加齢研究センターの、農村と沿いの高齢者が小ビジネスを始める訓練紹介。韓国・釜山健康家庭支援センターの、ITなどで世代間協力の動きを展開している状況。中国で新設されたソーシャルメーカーの国家資格試験(100万人受験)の状況と問題点など刺激を大いに受けます。一つのワークショップでは私が 40 分「シニアという地域の埋蔵金を掘り出す実践」の話をして質問が沢山あり、大きな拍手で終わりホッとしました。(当学会理事 堀池喜一郎)

3. 研究会報告

(1) 第45回社会保障研究会報告

- 1) 日時：2010年10月12日
- 2) 場所：高齢者生活協同組合会議室
- 3) 講師：吉原健二(元厚生省事務次官)
- 4) テーマ：日本の公的年金制度——歴史、特徴、そして今後——

日本の年金制度の特徴は、国民皆年金、全国国民共通の基礎年金、社会保険方式である。現在、保険料の納付率の低下、無年金者や低年金者の増加、納付記録の不備、財源の不足などのため、国民が不安や懸念を抱いている。民主党政権は、全国民一本の所得比例年金と国税による最低保障年金との組み合わせによる抜本的改革を説いているが、具体案は示されていない。所得の把握や財源などの面から、その実現の可能性は疑問視される。日本の年金制度は、まだまだ持続可能であり、今の制度の中でできることをやるべきではないか。(林 葉子記)

(2) 第46回社会保障研究会のご案内

- 1) 日時：2010年11月25日(木) 18:00～20:00
- 2) 場所：高齢者生活協同組合連合会・会議室
- 3) 講師：鏡 諭(所沢市役所)
- 4) テーマ：「介護保険制度について」(仮)

※ 参加希望者は、事務局宛電子メールまたはFAXにてご連絡下さい。

(3) 第7回「21世紀の倫理」研究会のご案内

- 1) 日時：12月21日(火) 16:00～19:00(※3時間の拡大研究会になります)
- 2) 場所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：①「キーワード」の討議と分類 ②濱口座長からの総括
- 4) その他：①研究会参加費として300円を徴収させていただきます。

②研究会終了後、恒例の忘年懇親会を開催します。

※ お問い合わせ等は、事務局島村までお願い致します。

4. 著書紹介

◇「夫婦間介護における適応過程」著者：林 葉子 (株)日本評論社 2010. 10 発行

ますます増える在宅の夫婦間介護、その課程で性別役割規範が変容していく。その姿を事例密着型調査方法によってリアルに浮き彫りにする。

◇「人生100年“超”サバイバル法」～1時間でわかる社会保障～ 著者：川村匡由 久美出版
100年に一度の経済危機？ いえいえ！ちょっとした心構えをすることで“長寿・日本”を謳歌し、いつでも天寿を全うでき、「どんとこい！」の人生をおくれるはず。筆者自らも実践し、体験も踏まえた「だれでも一時間でわかる社会保障」です。

5. シニアニュース

◇身上監護協会の「社会生活支援研修」参加者募集

身上監護（しんじょうかんご）とは、日常生活を営む上で、必要な法律行為や事実行為（例えば、契約や費用の支払い事務手続きなど）がスムーズに行えるように支援することです。

NPO 法人身上監護協会（理事長 愛知和男、シニア社会学会会員）は、日常生活を見守る支援者が不足している現在、高齢者支援に携わる方の人材育成、高齢者にかかわる問題・課題の調査研究および講演・セミナーなどを実施し、住み慣れた地域で生涯生活できる社会づくりを目的に活動しています。身上看護の啓発と普及、また専門的支援を行う立場の身上看護師の認定を通じて、一人でも多くの方が、心穏やかな人生を送れるよう社会貢献の活動を行っています。

高齢者の安心生活を実現するために単身高齢者と地域をつなぐ支援者の研修を下記の予定で実施します。地域で見守り活動している方が知っている役立つ内容であり、ご関心のある方の参加をお待ちしています。

日時・会場：12月16日（木）世田谷区烏山区民会館 13：30～16：00

12月18日（土）世田谷区北沢タウンホール 9：30～12：00

参加対象者：高齢者にかかわりのある方

参加費：500円

お申込先：身上監護協会事務局 URL：<http://www.npo-mca.jp>

TEL 03-6380-9572 / e-mail Tokyo@npo-mca.jp

6. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第9号からお知らせ

社）シニア社会学会の広報誌の1つ、学会機関誌「エイジレスフォーラム」第9号に掲載する『会員の声』の原稿募集いたします。下記の募集要項に基づき応募をお待ちしています。

【応募要項】

テーマ：日頃お考えのこと、趣味や興味を持っていること、ご自分の活動などテーマは自由です。

文字数：700字（50字前後の長短は可能）

投稿方法：シニア社会学会・事務局宛にE-mailで送付。不可能な場合はFAXまたは郵送にてお送り下さい。

締切り：2011年1月31日

送り先：E-mail：jaas@circus.ocn.ne.jp FAX：03-5778-4728

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

一般社団法人シニア社会学会・編集担当 武者宛

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
E-mail：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>